

月刊

かるが  
社協

## 社協だより

2021年  
8月号発行：狩留家地区社会福祉協議会  
広島市安佐北区狩留家町3144番地  
編集：広報部  
TEL: 844-0826

「狩留家なす物流センター」  
の開所式

八月資源ごみ売上  
一万二千円



筆頭に広島市の元気な町づくり助成金、競輪助成金（JKA）など多くは公の助成金に対して、狩留家のスタッフが応募して獲得した資金が中心で

これらの公の資金以外は狩留家ジンや狩留家を取り巻く人々による私的公募資金（クラウドファンディング）によるご支援です。

この狩留家なす物流センターの資金は、休眠預金等助成金（JAMPIA）を

令和三年七月二十四日、狩留家なす物流センターの開所式が盛大に挙行されました。狩留家の皆様のご協力の賜物です。有難うございます。

この様に、狩留家なす物流センターの資金の多くは、狩留家のスタッフが汗水流して企画書を書き、何度も折衝して獲得した資金と狩留家ジンや狩留家に関わりのある方々の応援の資金の合算で出



来上がつたものです。  
そのうえ、開所式の式典そのものも飛龍の皆様や吉岡ご夫妻、和泉ご夫妻そして狩留家地区社協の皆様のご協力によって盛大に執り行うことが出来ました。

その意味でも狩留家なす物流センターは狩留家なす生産者だけの物でもなければ、NPO狩留家だけの物でもなく、広く「狩留家ジン」全体の物です。

皆様の努力と協力の結果によって出来上がった狩留家なす物流センターを中心に今後いろいろな事業を周辺に作り、狩留家の町起こしの中心基地にしたいと考えています。物流センターは「物」



の動きのセンターと「人の動きのセンターになり、今後は「情報」のセンターにもしていきたいと考えています。

今、狩留家では「狩留家なす」という今までになかった広島の特産品が育ちつつあります。

栽培の量が足りなくて困っています。美味しいので幾らでも売れます。単価も徐々に上がりつづいています。

「狩留家なす」の栽培拡大にご協力ください。百本でも二百本でも栽培にご協力いただき、早朝作業による健康増進と孫へのお小遣い稼ぎをしながら「狩留家の町起こし」にご協力ください。

狩留家は今、団結が必要です。皆さんが五十本でも百本でも狩留家なす物流センターの目的と位置づけについてお話し

- 理事会の報告（令和三年八月十日）  
議題
- 一、狩留家なす物流センター・加工センター開所式の開所式について（中止）
  - 二、敬老祝賀会について
  - 三、移動支援サービスについて
  - 四、ボランティア活動の今後のあり方について

